

養源院

〔蓮華王院の東にあり、天台宗、開山盛伯法印、本願は贈從二位權中納言備前守藤原長政の息女豊臣秀吉公の

内政大虞院英巖大姉の建立なり。回録の後は崇源院贈一位和興大姉の再建なり、これは英岩の御妹なり。事は鐘の銘に

見えたり〕当院の林泉は風光閑雅にして奇岩多し、大客殿、櫻欄間、松間は俱に宗達の筆。桃間上段の松に鶴は俱に永

徳の筆。葵間も同筆と云伝ふ。〔或カ云、古右京の筆威に似たり〕南廂杉戸貳枚〔西表、象、東表、獅子、西表、獅子、

東表、犀〕宗達筆。東廂杉戸〔南表、柏に鷹、北表、張果老〕同く北西側杉戸〔東西、白沢王。西表、喜鵲〕瀧本坊昭

乗翁の筆なり。小客殿、熊篠間、弱竹間、菊間上段樹木都て宗達筆。袋棚小襖〔百花〕古法眼の筆。〔襖は惣じて惣金

極彩色、杉戸は木地極彩色、当院の客殿書院は伏見城の館舎をこゝに引移すなり。〕什宝〔壺〔銘浅香〕豊太閤持物○

雲井の琵琶○銀の丁子風炉○茶壺〔銘千鳥〕○印土茶碗○御硯○料紙箱○花生○左文字太刀○西湖図○和琴○文台○横

転渾天儀○絵鑑○書鑑〔右秀吉公御所持〕○豊国神号秀頼公十二歳筆○秀吉公像秀頼公像○菅公御硯○虎画明兆筆○十

三仏巨勢金岡筆○菅神自筆法華譬喩品○到得還年無別事一休筆、尚数十品あり。略之〕